

「全鍍連」 2024年 11月号 理事長のよこが

京都府鍍金工業組合 理事長 北村 隆幸 (メテック(株) 代表取締役社長)

「四国八十八か所霊場 満願成就」



今年の夏は大変暑い日が続きましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしだったでしょうか。昨年、私自身、生まれて初めて入院をしました。今年になって体調も良くなってきたので、病気治癒のお礼と健康祈願を兼ねて、四国八十八か所お遍路旅に行く事にしました。

今年はうるう年という事ですので、衛門三郎にあやかって、逆打ちに挑戦しました。ご存じない方に説明しますと、逆打ちとは88番から逆に回って、1番まで回ること、うるう年にそれをやると良い事があるそうです。

早速、阪急交通社主催の逆打ちお遍路旅の第1回目に参加しました。まだ寒い1月5日の日帰りバス旅行です。大阪梅田を出発し、先達さんの案内で88番大窪寺～86番志度寺までの3か所をお参りました。85番以降は自動車やバイクを利用し、区切り打ちにて参拝しました。最終週は8月10日から8月13日の日程で第1番霊山寺までを回り終え、第88番大窪寺にて、満願成就を書いて頂き無事終了しました。今回は徳島市の阿波踊りのオープニング・セレモニーを観ることができました。今後、高野山の奥之院へ訪問予定ですが、四国霊場は一旦終了です。

私の場合は大半がバイクでの移動となりますので、雨具やプロテクター等、いろいろと準備が必要です。お寺に着いても、着替えたりしますので、時間がかかります。バイクは運転中、非常に神経を使いますので、お参り時間に心や身体を休ませています。参拝には階段の上り下りも多く、大変です。足を酷使するので、ふくらはぎがこむら返りとなるなど、苦しみもありますが、気分転換には良い経験です。今年の夏は特別暑く、水分補給しましたが、ほとんど汗で出るくらいでした。お寺では無料で飲料水を頂ける場所もあり、持参した携帯ポットに水の補給をさせて頂けるのは大変助かりました。

お遍路に行くといろいろな方がおられ、すぐに次のお寺に向かわれる方も多いですが、私はせっかくの大切な時間をマイペースで過ごしています。お遍路に行くとか何かご利益がありますか？と聞かれることがありますが、あくまでも自己満足であると思っています。但し、何かを実現したいと一生懸命に努力するという事とお遍路に行く事とは共通する点があると思います。徳島県鳴門市の極楽寺の願掛け地蔵尊には「お願いすると共に、自分も精進努力することをお誓いなさい」と書かれてありました。つまり、何かをお願いするからには自らも精進努力する事が大切であるという事で、自ら精進努力する事を続けければ、願いはかなうということです。四国お遍路の魅力は地元の方との触れ合いもあります。いろいろと声を掛けてくださり、お接待という事で飲み物を頂くこともあり、心が温かくなりますし、疲れも癒されます。高齢の方が一生懸命に階段を上られている姿を見ると励まされます。私は大まかな予定を決めているだけです、予定通りにはいかない事も多く、その分時間がかかりますが、寄り道で思いがけない発見もあります。香川県善通寺の地下廻廊、出釈迦寺 捨身ヶ嶽禅定、愛媛県松山市 石毛寺マントラ洞窟、香川県大窪寺 奥の院など、見どころが多くあるので、行くたびに新しい発見があります。

最近はいろいろな映像でお遍路が紹介されていますので、簡単に行った気にはなれますが実際に行くと雨が降ったり、台風で足止めを食ったりと思いがけない苦労があります。お元気な方はすべてのお寺を回らなくても良いと思いますので、一度、四国お遍路旅へ出かけられたらいかがでしょうか。

